

学会・研究発表等

1 油症患者のライフスタイル等のアンケート調査

片岡恭一郎, 甲原隆矢, 篠原志郎, 保健福祉部生活衛生課: 平成12年度厚生省全国油症治療研究会議, 福岡市, 平成12年6月21日.

2 地域診断データベースの活用

片岡恭一郎, 甲原隆矢, 篠原志郎: 第26回九州衛生公害技術協議会, 佐賀市, 平成12年11月21日.

3 衛星データの地域利用プロジェクトにおける研究の紹介

大久保彰人: (財)環日本海環境協力センター・リモートセンシング水環境フォーラム, 富山市, 平成12年11月27日.

4 多時期 SAR データによる植生指標変化の抽出

大久保彰人, 山之口勤^{*1}, 田村正行^{*2}: 第29回日本リモートセンシング学会学術講演会, 奈良市, 平成12年12月1日.

*1 (財)リモートセンシング技術センター

*2 国立環境研究所

5 ダイオキシン分析上の注意点

先山孝則^{*1}, 太田壮一^{*2}, 桜井健郎^{*3}, 鈴木規之^{*3}, 中野武^{*4}, 橋本俊次^{*3}, 松枝隆彦, 松田宗明^{*5}, 渡辺 功^{*6}, 興嶺清志^{*7}, 根津豊彦^{*7}, 亀田 洋^{*7}: 第9回環境化学討論会, 札幌市, 平成12年6月20日.

*1 大阪市環境科学研究所

*2 摂南大学

*3 国立環境研究所

*4 兵庫県公害研究所

*5 愛媛大学

*6 大阪市公衆衛生研究所

*7 日本環境衛生センター

6 ダイオキシン類組成解析によるデータ評価

橋本俊次^{*1}, 太田壮一^{*2}, 先山孝則^{*3}, 桜井健郎^{*1}, 鈴木規之^{*1}, 中野 武^{*4}, 松枝隆彦, 松田宗明^{*5}, 渡辺 功^{*6}, 興嶺清志^{*7}, 根津豊彦^{*7}, 亀田 洋^{*7}: 第9回環境化学討論会, 札幌市, 平成12年6月20日.

*1 国立環境研究所

*2 摂南大学

*3 大阪市環境科学研究所

*4 兵庫県公害研究所

*5 愛媛大学

*6 大阪市公衆衛生研究所

*7 日本環境衛生センター

7 Characterization and virulence factors of *Escherichia coli* O157 strains that do not produce Shiga toxin

堀川和美, 村上光一, 中山 宏, 八柳 潤^{*}: VTEC 2000 4th Internal Symposium and Workshop on "Shiga Toxin (Verocytotoxin) -producing *Escherichia coli* Infections", 京都市, 平成12年11月1日.

* 秋田県衛生科学研究所

8 下痢原性大腸菌の付着因子保有状況

勢戸和子^{*1}, 小林一寛^{*1}, 八柳潤^{*2}, 寺尾通徳^{*3}, 金子通治^{*4}, 藤沢倫彦^{*5}, 山崎貢^{*6}, 林賢一^{*7}, 安岡富久^{*8}, 堀川和美, 河野喜美子^{*9}, 芹川俊彦^{*10}, 伊藤健一郎^{*11}: 第75回日本感染症学会, 奈良市, 平成13年3月29日.

*1 大阪府立公衆衛生研究所

*2 秋田県衛生科学研究所

*3 新潟保健環境科学研究所

*4 山梨県衛生公害研究所

*5 神奈川県衛生研究所

*6 愛知県衛生研究所

*7 滋賀県立衛生環境センター

*8 高知県衛生研究所

*9 宮崎県衛生環境研究所

*10 石川県保健環境センター

*11 国立公衆衛生院

9 食品の腸管出血性大腸菌 O157, サルモネラ等の実態調査結果について

世良暢之, 中山 宏, 村上光一, 堀川和美, 高田 智: 第47回福岡県公衆衛生学会, 福岡市, 平成12年5月19日.

10 The rapid *in vitro* screening assay of 300 chemicals in the *Salmonella* microsome test and analysis of 8-hydroxyguanine level in rat hepatocyte oxidized

世良暢之, 田中義人, 塚谷裕子, 志水信弘, 北森成治, 内海英雄^{*}: First congress of the international water association, パリ(フランス), 平成12年7月5日.

* 九州大学大学院薬学研究院機能分子解析学

11 肺がん患者の肺組織中に蓄積されている炭粉様微粒子のマウス肺内投与による8-OH-Gua 生成量について

世良暢之, 中西洋一^{*1}, 原 信之^{*1}, 嵯峨井 勝^{*2}, 常盤 寛^{*3}: 第41回大気環境学会, 生体影響 - 癌・変異原性 -, 浦和市, 平成12年9月26日.

*1 九州大学大学院医学研究院呼吸器病態制御学

*2 青森県立保健大学

*3 九州女子大学

12 簡易生物評価法としての突然変異誘発能及び8-OH-Gua 試験の有用性について

世良暢之, 田中義人, 北森成治, 内海英雄*: 第6回バイオアッセイ研究会, 平成12年9月12日.

* 九州大学大学院薬学研究院機能分子解析学

13 肺がん患者の肺組織内に蓄積されている炭粉様微粒子による8-OH-Gua 生成について

世良暢之, 中西洋一^{*1}, 原 信之^{*1}, 嵯峨井 勝^{*2}, 常盤 寛^{*3}: 日本環境変異原学会第29回大会, 平成12年11月16日.

*1 九州大学大学院医学研究院呼吸器病態制御学

*2 青森県立保健大学

*3 九州女子大学

14 *Salmonella* Corvallis の分子疫学解析

高山優子*, 村上光一, 堀川和美: 平成12年度日本獣医公衆衛生学会(九州地区地方会), 福岡市, 平成12年10月15日.

* 福岡県食肉衛生検査所

15 ポリオ根絶宣言に向けての取り組み

千々和勝己, 梶原淳睦, 石橋哲也, 濱崎光宏, 岡田賢司^{*1}, 宮崎千明^{*2}, 植田浩司^{*3}: 第47回福岡県公衆衛生学会, 福岡市, 平成12年5月19日.

*1 国立療養所南福岡病院

*2 福岡市立あゆみ学園

*3 西南女学院大学

16 ポリオ根絶宣言に向けての取り組み

千々和勝己, 梶原淳睦, 石橋哲也, 濱崎光宏, 岡田賢司^{*1}, 宮崎千明^{*2}, 植田浩司^{*3}: 第59回日本公衆衛生学会, 前橋市, 平成12年10月20日.

*1 国立療養所南福岡病院

*2 福岡市立あゆみ学園

*3 西南女学院大学

17 ポリオ生ワクチンによる健康被害が疑われた事例について

濱崎光宏, 梶原淳睦, 江藤良樹, 千々和勝己: 第26回九州衛生公害技術協議会, 佐賀市, 平成12年11月21日.

18 ヒト肝臓, 脂肪組織中の Mono-および Di-ortho-PCB レベル

中村又善, 堀就英, 平川博仙, 竹中重幸, 中川礼子, 飯田隆雄: 第47回福岡県公衆衛生学会, 福岡市, 平成12年5月19日.

19 COVALENT GLUTATHIONE CONJUGATION TO CYANOBACTERIAL MICROCYSTIN LR DOES NOT RESULT FROM MICHAEL REACTION

Shigeyuki Takenaka and Ryuichi Ootsu*: The 2nd Congress of Asian Society of Toxicology ASIATOX, Cheju Island, Korea, August 25, 2000.

* 九州保健福祉大学

20 アセトニトリル/水抽出 - 固相抽出管精製による残留農薬の簡易分析法

中川礼子: 第26回九州衛生公害技術協議会, 佐賀市, 平成12年11月21日.

21 DEVELOPMENT OF ANALYTICAL METHODS FOR MULTIRESIDUE PESTICIDES IN CROPS

Task group on analytical methods for multi-residue pesticides in crops, Reiko Nakagawa, Mitsuharu Takeda, et al.: The 3rd European Pesticide Residue Workshop, York, U.K., July 3 - 5, 2000.

22 食品中モノオルトコプラナー PCB 分析における精製法の検討

芦塚由紀, 堀 就英, 竹中重幸, 飛石和大, 中川礼子, 飯田隆雄: 第37回全国衛生化学技術協議会年会, 岐阜市, 平成12年11月26-27日.

23 油症患者血中ダイオキシン類の推移と栄養学的治療実験の試み

竹中重幸, 平川博仙, 中川礼子, 中村又善, 飯田隆雄: 平成12年度厚生省全国油症班会議, 福岡市, 平成12年6月20-21日.

24 LEVELS OF PCDDs, PCDFs AND Co-PCBs IN FLESH AND COOKED LEAFY VEGETABLES IN JAPAN

Tomoaki Tsutsumi, Takao Iida, Tsuguhide Hori,

Toshihiko Yanagi ^{*2}, Youichi Kono ^{*2}, Hiroyasu Uchibe ^{*1}, Masatake Toyoda ^{*1}: 20th International Symposium on halogenated Environmental Organic Pollutants and Persistent Organic, Monterey, California, USA, 平成12年 8月13-17日.

*1 National Institute of Health Sciences

*2 Japan Food Reserch Laboratories

25 Health effects of chronic exposure to polychlorinated debenzo-p-dioxins, dibenzofurans and coplanar PCB around municipal waste incinerators

Shaw Watanabe ^{*1}, Kimiyoshi Kitamura ^{*1}, Yuriko Kikuchi ^{*1}, Masahiko Sunaga ^{*1}, Takao Iida, Gabriel Waechter ^{*2}, Fumi Yamamoto ^{*3}: 20th International Symposium on halogenated Environmental Organic Pollutants and Persistent Organic, Monterey, California, USA, 平成12年 8月13-17日.

*1 Department of Applied Bioscience

*2 The Bayreuth Institute for Enviromental Research

*3 Ministry of Health and Welfare

26 補集時に生じるアーティファクトの研究 - 捕集時間の差によるガス状及び粒子状物質の化学的変質 - 下原孝章, 力寿雄, 大石興弘, 村野健太郎*: 第41回大気環境学会, 浦和市, 平成12年 9月26日.

* 国立環境研究所

27 Properties of Gaseous and Particulate Matters at Two Sites of Northern Kyushu in Japan

-Origin of Acidic Substances in Summer and Winter-

Takaaki Shimohara, Okihiro Oishi, Toshihiko Sakurai Sunji Niiya, Tsuyoshi Kamaya ^{*1}, Hitoshi Mukai ^{*2}, Shiro Hatakeyama ^{*2}, Itsushi Uno ^{*2}, Kentaro Murano ^{*2}, Acid Rain 2000, Tsukuba-city, December 10-16.

*1 長崎県衛生公害研究所

*2 国立環境研究所

28 1998年夏のSPM高濃度現象について 濱村研吾, 岩本眞二: 第26回九州衛生公害技術協議会, 佐賀市, 平成12年11月21日

29 エアロゾル中の硫酸イオン濃度と気圧配置

- 季節変動及び高濃度時の解析 -

大石興弘, 下原孝章, 鶴野伊津志 ^{*1}, 畠山史郎 ^{*2}, 村野健太郎 ^{*2}: 第41回大気環境学会, 浦和市, 平成12年 9月26日.

*1 九州大学応用力学研究所

*2 国立環境研究所

30 九州北部地域におけるフィルタ - パック法によるガス・エアロゾル調査について

大石興弘: 第41回大気環境学会, 浦和市, 平成12年 9月26日.

31 2,4-ジニトロフェニルヒドラジン含浸シリカゲル法によるホルムアルデヒド測定における二酸化窒素の影響

池浦太莊, 柳川正男: 大気環境学会九州支部第1回研究発表会, 福岡市, 平成13年 1月19日.

32 茶園及び周辺地中の一酸化二窒素(N₂O)濃度分布 馬場義輝, 松尾宏, 中村融子, 永淵義孝, 平田健正 ^{*1}, 西川雅高 ^{*2}: 第7回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会, 札幌市, 平成12年12月12日.

*1 和歌山大学

*2 国立環境研究所

33 森林機能と溪流河川水質との関係

- 屋久島西部林道 -

永淵修, 久米篤 ^{*1}, 古賀実 ^{*2}: 日本陸水学会第65回大会, 福岡市, 平成12年 9月17日.

*1 九州大学農学部

*2 熊本県立大学環境共生学部

34 照葉樹林帯の小流域からのイオン成分の流出特性 永淵修, 海老瀬潜一 ^{*1}, 井上隆信 ^{*2}: 第35回日本水環境学会年会, 岐阜市, 平成13年 3月16日.

*1 摂南大学工学部

*2 岐阜大学工学部

35 あん類製造業排水のリン除去における一考察 志水信弘, 松尾宏, 永淵義孝, 岩本眞二: 第47回福岡県公衆衛生学会, 福岡市, 平成12年 5月19日.

36 あん類製造業排水のリン除去における一考察 志水信弘, 松尾宏, 永淵義孝, 岩本眞二: 第26回九州衛生公害技術協議会, 佐賀市, 平成12年11月21日.

37 ピロキロンの水田流出とバイオアッセイによる影響評価の試み

志水信弘, 田中義人, 永淵修, 世良暢之: 第35回日本水環境学会年会, 岐阜市, 平成13年 3月14日.

38 渓流水のトリハロメタン生成能による水質評価
永淵義孝，松尾宏，佐々木重行*：第35回日本水環境学会年会，岐阜市，平成13年3月14日。

* 福岡県森林林業技術センター

39 植物系炭化物を混合した機能性コンクリートの調整と水質浄化特性

世利桂一*¹，徳永隆司，中村融子，野田和孝*²，倉富伸一*³：第50回日本木材学会大会，京都市，平成12年4月3-5日。

*1 福岡県工業技術センターインテリア研究所

*2 (株)野田ブロック工業

*3 (株)神垣組

40 茶畑におけるマンガン収支の推定

中村融子，松尾宏，馬場義輝，永淵義孝，平田健正*¹，西川雅高*²：第35回日本水環境学会年会，岐阜市，平成13年3月16日。

*1 和歌山大学

*2 国立環境研究所

41 畑地施肥量削減に伴う周辺水域の水質変化

- 茶畑の事例 -

松尾宏，馬場義輝，中村融子，徳永隆司，北森成治，平田健正*¹，西川雅高*²：第27回環境保全・公害防止研究発表会，静岡市，平成12年11月22日。

*1 和歌山大学

*2 国立環境研究所

42 新規バクテリオシンの特性に関する研究

田中義人，塚谷裕子，中山宏，堀川和美，北森成治：福岡県産業・科学技術振興財団産学官共同研究開発事業成果発表会，福岡市，平成12年11月29日。

43 浮遊粒子状物質中に含まれる各種元素の特徴と季節変化

宇都宮彬，濱村研吾，大石興弘：大気環境学会九州支部研究発表会，福岡市，平成13年1月19日。

44 新設貯水池の水質と流入河川負荷

土田大輔，福島智彦*¹，土門文之*²，橋治国*¹：土木学会 第12回全国大会（第55回年次学術講演会），仙台市，平成12年9月21-23日。

*1 北海道大学工学部

*2 北海道開発庁

45 竹炭入りコンクリートを用いた生物浄化型護岸ブロックの開発

徳永隆司，中村融子，世利桂一*¹，黒木重則*¹，倉富伸一*²，野田和孝*³，加納正道*⁴：第7回シンポジウム「環境用水の汚濁とその浄化」，福岡市，平成12年6月19-20日。

*1 福岡県工業技術センター

*2 (株)神垣組

*3 (株)野田ブロック工業

*4 九州産業大学工学部

46 シュロガヤツリを用いた水中有機化合物の処理

徳永隆司，永瀬誠，土田大輔，中村融子，松永雄二*：平成12年度日本水環境学会九州支部研究発表会，大分市，平成13年2月23日。

* (株)新日本環境計測

47 地方の研究所における騒音振動部門の現状と課題

木本行雄：平成12年度全国公害研協議会騒音振動担当者会議，東京都，平成12年9月4日。

48 地下空間におけるラドン濃度調査

榎崎幸範，床次眞司*，山田裕司*：九州山口薬学会，別府市，平成12年11月12日。

* 放射線医学総合研究所

49 福岡県における放射能調査

榎崎幸範，新谷俊二，木本行雄：第42回環境放射能調査研究成果発表会，千葉市，平成12年12月6日。

50 黄砂による空間放射線量率への影響

榎崎幸範，加留部善晴*：第42回環境放射能調査研究成果発表会，千葉市，平成12年12月6日。

* 福岡大学医学部

51 地下公共施設におけるラドン濃度測定と線量評価
- 福岡市天神地下街 -

榎崎幸範，床次眞司*，山田裕司*：第42回環境放射能調査研究成果発表会，千葉市，平成12年12月6日。

* 放射線医学総合研究所

52 工場建屋透過音に対する防音壁の遮音効果について

松本源生，藤原恭司*，尾本章*：日本音響学会2000年秋季研究発表会，盛岡市，平成12年9月20日。

* 九州芸術工科大学音響設計学科

**53 指向性音源に対する防音壁挿入損失に関する研究
(その3)**

松本源生，藤原恭司*，尾本章*：日本音響学会2001
年春季研究発表会，つくば市，平成13年3月14日。

* 九州芸術工科大学音響設計学科

**54 ニトリル系除草剤ジクロベニルによるミズムシ類
(カメムシ目)の色素異常**

緒方 健：第6回バイオアッセイ研究会・日本環境毒
性学会合同研究発表会，寝屋川市，平成12年9月11日。

**55 身近な自然とのふれあいの場として整備された
“生きものふれあい園地”の生物**

山崎正敏，須田隆一，緒方 健，笹尾敦子：第26回九
州衛生公害技術協議会，佐賀市，平成12年11月21日。